

「ほたるの湯」入浴料を引き下げは

値下げの考えはない

問

「ほたるの湯」の入浴者が減っているようです。昨年4月に入浴料を100円値上げして300円となりました。

また、サウナ等も廃止されました。厳しい財政のなか、やむを得ない事情もわかりますが、風呂を維持するには一定の固定費がかかるわけですから、値下げしてお客さんを増やした方がいいのではないかと思います。

家計を直撃した証左です。町長の考えは。

■答 中嶋町長

結論から言いますと、値下げの考えはありません。

現状のまま、推移を見守っていきたくて考えています。

固定的な費用としては、人件費が約750万円、点検整備費として約300万円、および光熱水費です。

値上げすることにより、約500万円赤字が縮小されています。



御手洗 寿乃 議員



福祉センター内「ほたるの湯」

入浴者が減っているのは、値上げだけではなく、サウナの廃止、新型インフルエンザの流行、コミユニティバスの運行時間等が影響していると思われまます。今後は、福祉センターをコミユニティの場として、一日を楽しんで帰られるような方向に持っていきたくて思います。

コンビニで住民票交付を

取り組む方向で

問

セブンイレブンが、東京都渋谷区・三鷹市・千葉県市川市の7店舗で、住基カードと端末を使って住民票の写しと印鑑登録証明書の交付を受けられるサービスをはじめました。

6時半～23時半、日曜・祝日もサービスが受けられ、住民にとって非常に便利です。

自治体に参加を呼びかけ、5月中旬に国内全店に拡大する予定です。

現在、須恵町で住基カードを持つ人は497人です。



住民票等を交付している 庁舎住民課窓口



今村 桂子 議員

コンビニ交付実施で、住基カードの普及促進、役場の閉庁時におけるサービス提供が図られます。その取り組みにかかる費用を助成する事業を活用し、コンビニ交付を現実できないでしょうか。

■答 中嶋町長

1月末にこのことに関する情報を得ました。

すぐに電算担当職員に対し、窓口である総務省に問い合わせ、「取り組む方向でいきなさい」と指示をしております。

現在、宇美町、志免町と電算共同化をやっていますので、3町共同でこれに取り組めば、総務省も実証実験を許可してくれるのではないかと考えておりました。

しかし、各町の電算環境の問題で、共同申請が難しいと思われまます。

できるだけ3町で申請したいのですが、できれば須恵町だけでも申請するつもりです。

今、住民課と総務課とで申請に向けて検討しています。

これからも、実証実験や社会実験などで、須恵町にとってプラスであれば、取り組んでいきたいと思ひます。

ここが聞きにくい!

一般質問



答弁中の中嶋町長